



内科・胃腸科・呼吸器科・放射線科

ゆとりが丘クリニック 便り

〒020-0638 岩手県滝沢市土沢541番地

TEL 019-699-1122 / FAX 019-699-1121

令和5年1月23日(2023) 第0115号



『ゆでたまご』

院長メモ

滝沢の外れ、自衛隊駐屯地にほど近い一見バラックにも見える長屋住宅のほぼ真ん中に、私の向かう患家がある。トタンで打ち付けられた引き戸の表にぶら下げられたボール紙が冷たい風にはためいていた。降り始めた雪の中近づいていくと、何やら黒いマジックで文字が書かれている。先生ここでは

屋下がりにしては暗い部屋に入ると、隣家とは幾層かのベニヤ板で隔されているだけのようで、壁四隅と床は少々ゆがみ窓際からは北風が容赦なく部屋に吹き込んできた。「調子はどうですか？」私の問いかけに40歳を過ぎたばかりの独身一人暮らしの男性Sさんは、癌末期特有の痩せこけた躰で答えた。「まあ、なんとか。先生、外は寒かったべ。まず、ゆでたまご食べてけろ。」と私に何かを差し出した。部屋の暗さに目が慣れてくると、フチが欠けて使い込んで黒ずんだご飯茶碗の底に、冷え切ってやや色が変わったゆでたまごが一個ころがっていた。

私はそれをほおぼりながら、あれこれと診察を始めた。無理してコートを脱いだもののビニール敷の床が冷たすぎて靴下の裏がかじかんだ。「春まで病院に戻ろうか？」という私の問いかけに「おれ、ここでいいよ。」とSさんは小さく笑いながら答えた。ストーブの火の始末を注意し、ゆでたまごの礼を言って帰ったが、何故か心の奥まで冷え込んだような気がした。

結局これが最初で最後の往診となり、数日後真冬には珍しく穏かな日差しの入り込んだその部屋で私は死亡診断書を書いた。「先生がおれのゆでたまご食べてくれて嬉しかった。」と言っていたと、後で看取りをした訪問看護師から聞いた。

平成28年第42号掲載

『空を見る人』

院長メモ

Sさんは私が訪問診療する時はいつも縁側に置かれた竹で編んだイスに腰掛けていた。小さなテーブルの上に広げられた『雲の図鑑』を見やりながらSさんが話し始める。

「先生、あれがウロコ雲ですよ。そろそろ秋ですな。」



(裏面へ)

私は良く手入れされた庭の上に広がる空を見上げるが、前回訪問時のモクモクとした雲は既になく、空の景色には全く無頓着であった私にも夏の終わりが感じられた。

Sさんは78歳。食道癌の患者だがすべての延命治療を拒否して在宅となった。確認したことはなかったが、教育関係の仕事に就いていたらしく部屋の本棚には教育関係の本が多く並んでいた。奥様によると、気分の良い時にはいつも同じ場所に座って雲の図鑑と空を交互に眺めて時間を過ごしていたようだ。私はお宅に伺う度に、雲についての講義を受け多少の知識を得た。

Sさんはそれからいくつかの季節を雲を眺めながら過ごしたが、次第に弱っていき縁側隣の部屋で寝たきりで過ごす時間が多くなっていった。

「先生、今日の雲はどうですか？」ベッドの中からSさんが私に問いかける。

「ほうきの先ですっと掃いたようなのが、西の方から流れているように見えますけど。」と私。

「フーン、そんな季節になったんだね。」とSさん。

こうして私が雲の様子をSさんに伝え、Sさんがそれに言葉を添える、という日々が続いた。次の年の初めにSさんは亡くなり、私はといえば雲に関しては少々うるさくなった。

平成28年第35号掲載

おことわり

上記の2文は、私が以前この欄に掲載したものです。

最近、コロナ云々等でまわりが忙しくなり本来の私の怠け癖もあって、新しいものを書くことが難しくなることも多々あります。そんな訳でしばらくの間は苦し紛れにこんなことをしてみることにしました。

“この文章、前に読んだことがあるような・・・”と思われた方はそういう訳ですので、よろしくご了承下さい。

休診・診療時間のお知らせ



休日当番医

2月12日(日)

診療受付時間

9:00~12:30(午前のみ)

診療日・時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診療 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	休
午後診療 15:00~18:00	○	○	休	○	○	休	休

(日曜・祭日は休診日です)

2023年2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
⑤	6	7	8	9	10	⑪
12 休日当番医	13	14	15	16	17	18
⑲	20	21	22	⑳	24	25
⑳	27	28	○ = 休診日 ★ = 診療時間変更			

※都合により変更になる事がございます。ご了承願います。

このマガジンは当クリニックホームページ(クリニック便り)でもご覧になれます。

ゆとりが丘クリニック 検索